

中勢沿岸流域下水道（雲出川左岸処理区）

雲出川左岸浄化センターの維持管理

- (1) 施 設 配 置 図
- (2) 幹 線 管 渠 状 況 図
- (3) 現 況 施 設
- (4) 設 備 概 要
- (5) 処 理 フ ロ ー
- (6) 水 質 管 理 状 況
- (7) 汚 水 処 理 水 量
- (8) 電 力 ・ 水 道 ・ 薬 品 ・ 燃 料
- (9) 汚 泥 脱 水 処 理
- (10) 施 設 点 検 業 務 の 概 要
- (11) 水 質 試 験 業 務
- (12) 周 辺 環 境 調 査

## (1) 施設配置図

### ■ 計画概要

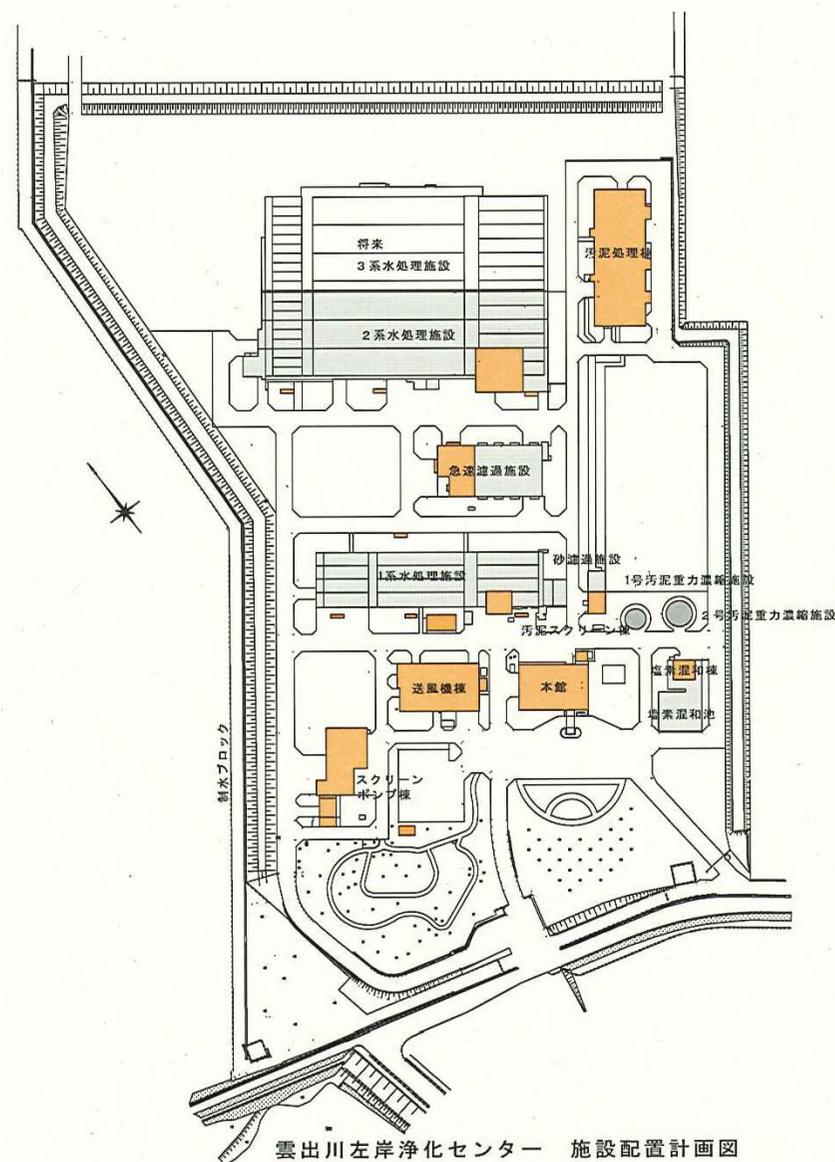
項目	区分	全体計画	認可計画
処理区域面積 (ha)		3,907	2,257.3
処理区域内人口 (人)		119,300	94,830
処理能力 (m <sup>3</sup> /日最大)		71,300	55,140
処理方法		(1系)凝集剤併用型循環式硝化脱窒法+急速ろ過 (2-4系)凝集剤併用型嫌気・無酸素・好気法+急速ろ過法	(1系)標準活性汚泥法+急速ろ過法 (2-3系)凝集剤併用型嫌気・無酸素・好気法+急速ろ過法
排除方式		分流式	
処理場敷地 (ha)		19.05	19.05

### ■ 経過の概要

S57.1.22	中勢沿岸流域下水道雲出川左岸処理区都市計画決定
S57.2.23	同都市計画法による事業認可
S57.3.12	同下水道法による事業認可
S62.12.19	幹線管渠工事着手
H1.12.19	浄化センター工事着手
H5.3.30	通水式
H5.4.1	供用開始(津市、久居市、香良洲町の一部)
H17.12	幹線管渠工事完成

### ■ 関連公共下水道の内訳(全体計画)

市町名	計画処理面積 (ha)	処理区域内人口 (人)	計画処理水量 (m <sup>3</sup> /日最大)
津市	3,907	119,300	71,300
(旧)津市	2,472	74,960	45,300
(旧)久居市	1,181	39,840	23,400
(旧)香良洲町	254	4,500	2,600



雲出川左岸浄化センター 施設配置計画図  
敷地面積 (全体計画) 19.05 ha

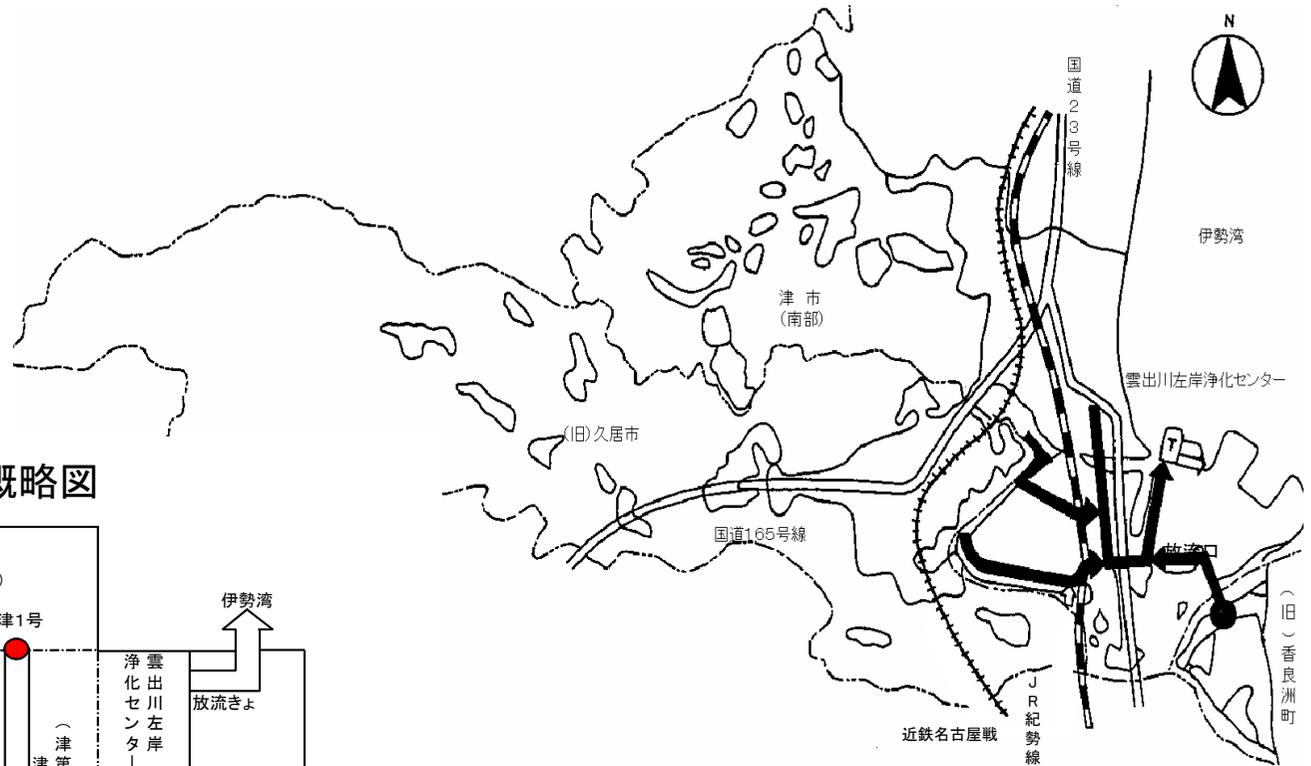
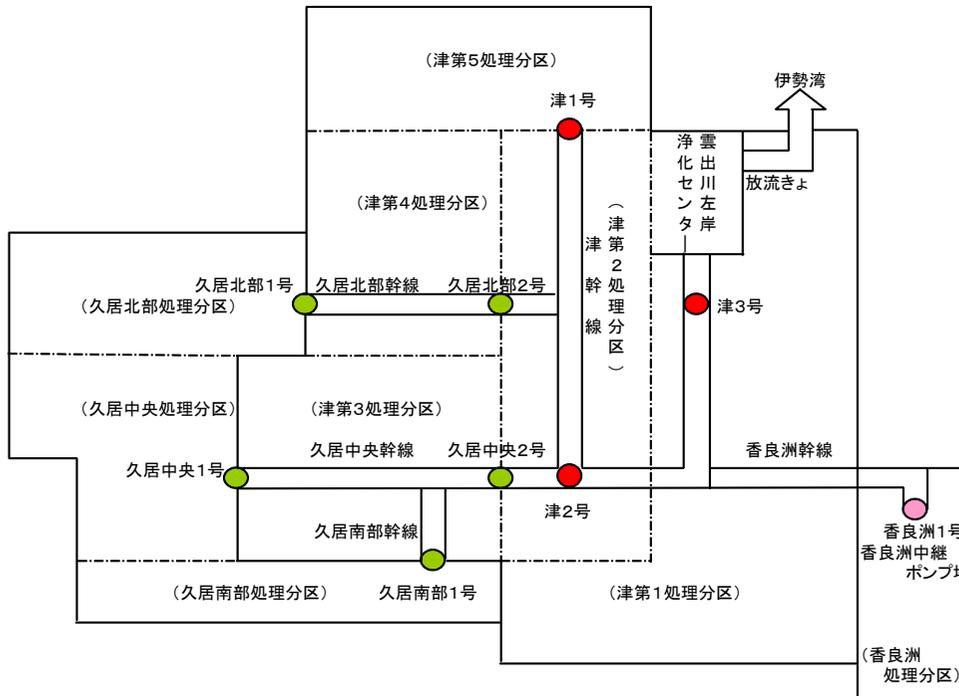
## (2) 幹線管渠状況図

(供用開始延長:累計延長)

5幹線 管径300~1,650mm 総延長12,170m

平成18年度供用開始率100%

### 幹線管渠の概略図



[津幹線]

管径(mm)	延長(m)	H5年度
1,350	4,560	(100.0)
~1,650		4,560

[久居中央幹線]

管径(mm)	延長(m)	H5年度
800	3,530	(100.0)
~1,150		3,530

[久居南部幹線]

管径(mm)	延長(m)	H17年度
500	250	(100.0)
		250

[久居北部幹線]

管径(mm)	延長(m)	H9年度		
		10	11	12
600	2,040	(16.2)	(16.2)	(16.2)
~800		330	330	330
				(100)
				2,040

[香良洲幹線]

管径(mm)	延長(m)	H5年度
300	1,790	(100.0)
~350		1,790

### (3) 現況施設

名称	形状区分 形状寸法	平成24年4月1日現在		
		土木建築	機械電気	摘要
主ポンプ	12.6m <sup>3</sup> /min × 86kW	1棟	2台	
	25.2m <sup>3</sup> /min × 157kW		2台	
最初沈殿池	L20.0m × W6.1m × 深さ3.0m	4池	4池	
	L12.5m × W4.2m × 深さ3.1m	9池	9池	
反応槽	L42.0m × W6.0m × 深さ5.5m	4池	4池	
	L70.5m × W13.2m × 深さ5.5m	3池	3池	
PAC貯留槽	5m <sup>3</sup>	—	2槽	
	10m <sup>3</sup>	—	1槽	
最終沈殿池	L30.0m × W6.1m × 深さ3.0m	4池	4池	
	L29.7m × W6.5m × 深さ3.6m	6池	6池	
砂ろ過設備 (急速ろ過池)	L5.5m × W6.0m	6池	5池	
次亜塩素酸ソーダ 貯留槽	5 m <sup>3</sup>	1棟	2基	
塩素混和池	幅3.0m × 長45.0m × 深2.0m = 270m <sup>3</sup>	1池	1池	
放流渠	L500m φ 1,650mm 1条	500m	—	
汚泥濃縮タンク	φ 8.0m × 深さ3.0m	1池	1池	
	φ 12.0m × 深さ3.0m	1池	1池	
機械濃縮	常圧浮上濃縮装置 10m <sup>2</sup> 25kg・DS/m <sup>2</sup> ・h	1台	1台	
脱水機	ベルトプレス	1棟	布幅1.5m	1台
			布幅3.0m	3台
送風機	40m <sup>3</sup> /min × 75kW	1棟	2台	
	80m <sup>3</sup> /min × 130kW		1台	
	100m <sup>3</sup> /min × 160kW (1台予備)		1台	
自家発電設備	ガスタービン 1,250kVA	1棟	1台	
幹線管渠	φ 1,650mm ~ φ 300mm	11,920m	—	
中継ポンプ場 (香良洲中継ポンプ場)	1.83m <sup>3</sup> /min × 11kW (1台予備)	1棟	4台	

## (4)設備概要

設備	機器名	規格又は仕様		電気容量[%W]	台数
スクリーン設備	1号粗目スクリーン	バースクリーン	W3,000mm 目幅150mm	—	2
	1号細目自動除塵機	間欠式前面かき揚げ形	間欠式前面かき揚げ形 W3,000 目幅25mm	1.5×2	2
	し渣搬出コンベア	トラフ形ベルトコンベア	トラフ形ベルトコンベア W600×L12,000mm	1.5	1
	し渣洗浄機	機械攪拌式	機械攪拌式 1.0m <sup>3</sup> /h	3.7+0.4	1
	し渣洗浄機排水弁	電動偏心構造弁	電動偏心構造弁 φ150mm	0.2	1
	し渣脱水機	プランジヤー式	プランジヤー式 1.0m <sup>3</sup> /h	5.5	1
	し渣スキップホイス	ワイヤーロープ式	ワイヤーロープ式スキップホイス 0.3m <sup>3</sup> ×h25m	3.7	1
	し渣ホッパ	鋼板製密閉角型(カッタゲート式)	鋼板製密閉角型(カッタゲート式) 5m <sup>3</sup>	0.75×2	1
	1号コンテナ吊揚機	電動チェーンブロック(ギヤードトリ付き)	ギヤードローリ付電動チェーンブロック 1t×9m	1.4	1
	2号コンテナ吊揚機	電動チェーンブロック(ギヤードトリ付き)	ギヤードローリ付手動チェーンブロック 1t×8m	—	1
ポンプ設備	1、2号流入ゲート		W1,000×h1,650mm	2.2	2
	ポンプ井連絡ゲート		W1,000×h1,000mm	—	1
	1、2号ポンプ井攪拌機	水中ミキサー	水中ミキサー 250mm	2.4	2
	1、2号汚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ300mm×12.6m <sup>3</sup> /min	86	2
	1、2号流水ポンプ用吐出弁	電動仕切弁	電動仕切弁 φ300mm	0.75	2
	1、2号流入ポンプ用逆止弁	逆止弁	スイング逆止弁 φ300mm	—	2
	1、2号流入ポンプ用吸込弁	手動仕切弁	手動仕切弁 φ300mm	—	2
	1、2号流入ポンプ用仕切弁	手動仕切弁	手動仕切弁 φ300mm	—	2
	3号流入ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ450×25.2m <sup>2</sup> /min	157	1
	4号流入ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ450×25.2m <sup>3</sup> /min	160	1
	3、4号流水ポンプ用吐出弁	電動仕切弁	電動仕切弁 φ450mm	1.5	2
	3、4号流入ポンプ用逆止弁	逆止弁	スイング逆止弁 φ450mm	—	2
	3、4号流入ポンプ用吸込弁	手動仕切弁	手動仕切弁 φ450mm	—	2
	3、4号流入ポンプ用仕切弁	手動仕切弁	手動仕切弁 φ450mm	—	2
	5、6号流入ポンプ用吸込弁	手動仕切弁	手動仕切弁 φ450mm	—	2
	電磁流量計用仕切弁	手動仕切弁	手動仕切弁 φ600mm	—	2
	増設用仕切弁	手動仕切弁	手動仕切弁 φ800mm	—	1
	床排水ポンプ	水中ポンプ	水中ポンプ φ80mm×0.2m <sup>3</sup> /min	7.5	2
	搬入室(1)吊揚機	手動式チェーンブロック	手動式チェーンブロック 5t	—	1
	搬入ポンプ棟吊揚機	手動式チェーンブロック	手動式チェーンブロック 5t	—	2
	砂ろ過水槽	角形FRPタンク	角形FRPタンク 6m <sup>3</sup>	—	1
搬入室(1)吊揚機	手動式チェーンブロック	手動式チェーンブロック 5t	—	1	
搬入室(2)吊揚機	手動式チェーンブロック	手動式チェーンブロック 5t	—	1	
脱臭設備	1号脱臭ファン	FRP製ターボファン	FRP製ターボファン 40m <sup>3</sup> /min	3.7	1
	1号活性炭吸着塔		40m <sup>3</sup> /min	—	1
	活性炭吊揚機	手動チェーンブロック	手動チェーンブロック 1t×5m	—	1
その他	給水ユニット		2.1m <sup>3</sup>	7.5×2	1
	受水槽加圧ユニット		1.0m <sup>3</sup>		1
	受変電設備		6.6kV tr1台(300kVA)	300kVA	一式
	消火栓設備			2.2	一式

設備	機器名	規格又は仕様		電気容量[kW]	台数
分配槽	1系分配可動堰	手動可動堰	W1,500×h1,450mm 手動	—	1
	2系分配可動堰	手動可動堰	W2,000×h1,450mm 手動	—	1
	1系初沈バクイバスケート	手動仕切弁	W600×h600mm 手動	—	1
	2系初沈バクイバスケート	手動仕切弁	W600×h600mm 手動	—	1
	2-1、2号反応タンクバクイバスケート	手動仕切弁	W600×h600mm 手動	—	2
1系水処理設備	初沈流入ゲート	手動仕切弁	W600×h600mm 手動	—	4
	初沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁	電動式偏心構造弁 φ150mm	0.1	4
	初沈汚泥引抜ポンプ	無閉塞形ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ φ100mm×0.8m <sup>3</sup> /min	7.5	2
	池排水ポンプ	無閉塞形ポンプ	無閉塞形 φ100mm	7.5	1
	初沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式(2連1駆動)		1.5×2	4
	初沈スクラムスキマー	電動式パイプスキマー		0.2	4
	攪拌式曝気装置	水中攪拌式	水中攪拌式	5.5	2
	水中攪拌機吊揚機	移動式クレーン	移動式クレーン 1t×7m	—	1
	反応槽流入可動堰	手動可動堰	W1,000×h500mm 手動	—	16
	消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ		3.75	1
	散気装置(1、2池)	セミック散気板	通気量：80リットル/min	—	2
	散気装置(3、4池)			—	2
	空気調整弁	電油操作式	電油操作式 φ350mm	0.4	2
	終沈流入ゲート	手動仕切弁	W600×h600mm 手動	—	4
	終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁	電動式偏心構造弁 φ250mm	0.2	4
	返送汚泥ポンプ(A)	吸込スクレー付汚泥ポンプ(可変速VSMモータ)	吸込スクレー付汚泥ポンプ 1.55m <sup>3</sup> /min	7.5	2
	返送汚泥ポンプ(B)	吸込スクレー付汚泥ポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ 3.1m <sup>3</sup> /min	15	2
	余剰汚泥ポンプ	無閉塞形ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ φ80mm×0.5m <sup>3</sup> /min	7.5	2
	終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式(2連1駆動)		1.5×2	4
	終沈スクラムスキマー	電動式パイプスキマー		0.2	4
	初沈スクラムポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ 2.0m <sup>3</sup> /min	7.5	1
	終沈スクラムポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ 2.0m <sup>3</sup> /min	11	1
	スクラム分離機	回転ドラム型		0.4	1
	スクラムコンテナ吊上機	手動ジブクレーン	0.5t×3m	—	1
	PAC貯留槽	立型FRP製タンク	立型定置式FRP製タンク 5m <sup>3</sup>	—	2
	PAC注入ポンプ	ダイヤフラム式定量ポンプ	ダイヤフラムポンプ 0.154 L/min	0.2	2
初沈床排水ポンプ	水中汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	1.5	2	
反応槽床排水ポンプ	水中汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	1.5	2	
終沈床排水ポンプ	水中汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	1.5	2	
2系水処理設備	初沈流入ゲート	手動仕切弁	W600×h600mm 手動	—	9
	初沈汚泥引抜弁	電動式偏心構造弁	電動式偏心構造弁 φ150mm	0.2	9
	初沈汚泥引抜ポンプ	無閉塞形ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ φ100mm×0.3m <sup>3</sup> /min	3.7	2
	池排水ポンプ	無閉塞形ポンプ	無閉塞形 φ200mm	11	1
	初沈汚泥掻寄機(2-1池)	チェーンフライト式(3連1駆動)		1.5	1
	初沈汚泥掻寄機(2-2、2-3池)	チェーンフライト式(1連1駆動)		0.4	6
	初沈スクラムスキマー(1, 2, 4, 5, 7, 8, )	電動式パイプスキマー	電動式パイプスキマー φ300×L3.2m	0.2	6

設備	機器名	規格又は仕様		電気容量[kW]	台数
2系水処理設備	初沈スクラムスキマー(3, 6, 9)	電動式パイプスキマー	電動式パイプスキマー φ300×L4.2m	0.2	3
	初沈スクラムポンプ	吸込スクレー付水中汚泥ポンプ	吸込スクレー付水中汚泥ポンプ 1.5m <sup>3</sup> /min	5.5	1
	初沈スクラム分離機		2.0m <sup>3</sup> /min 目幅3mm	0.85	1
	池排水ポンプ	無閉塞形ポンプ	無閉塞形 φ200mm	11	1
	反応タンク流入可動堰	手動可動堰	W1,000×h600mm 手動	—	18
	嫌気タンク攪拌機	水中攪拌機	水中攪拌式	5.5	3
	無酸素タンク攪拌機	水中攪拌機	水中攪拌式	7.5	6
	好気タンク攪拌機	水中攪拌機	水中攪拌式	7.5	12
	循環ポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ	7.5	6
	空気調整弁	電油操作式	電油操作式 500A	0.4	3
	攪拌機吊上装置	組立型移動式クレーン	組立型移動式クレーン 2t	—	1
	終沈流入ゲート	手動仕切弁	W600×h600mm 手動	—	6
	余剰汚泥引抜弁	電動式偏心構造弁	電動式偏心構造弁 φ100mm	0.2	6
	返送汚泥ポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ 3.0m <sup>3</sup> /min	15	6
	余剰汚泥ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ φ100mm×0.5m <sup>3</sup> /min	7.5	2
	終沈汚泥掻寄機	チェーンフライン式(2連1駆動)	チェーンフライン式(2池1駆動)	1.5	3
	終沈スクラムスキマー	電動式パイプスキマー	電動式パイプスキマー φ350×L5.6m	0.2	6
	終沈スクラムポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ	吸込スクレー付汚泥ポンプ 2.0m <sup>3</sup> /min	7.5	1
	消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	15	1
	消泡水ストレーナー	自動洗浄ストレーナー	自動洗浄ストレーナー	0.75	1
	PAC貯留槽	立型円筒式タンク	立型円筒式タンク 10m <sup>3</sup>	—	1
	PAC注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ	ダイヤフラムポンプ 0.3 L/min	0.2	3
	1、2号A1管廊床排水ポンプ	水中ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	1.5	2
	空気増設弁	手動蝶形弁	手動蝶形弁 500A	—	3
	2次処理水給水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	3.7	2
	2次処理水給水ストレーナー			0.1	1
	計装用空気源装置			0.8	1
	初沈床排水ポンプ	水中ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	3.7	2
反応タンク床排水ポンプ	水中ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	3.7	2	
終沈床排水ポンプ	水中ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	3.7	2	
その他	受変電設備	6.6kV tr1台(500kVA)	6.6kV tr1台(500kVA)	500kVA	一式
脱臭設備	1号脱臭ファン	ターボファン	ターボファン 40m <sup>3</sup> /min	5.5	1
	2号脱臭ファン	ターボファン	ターボファン 70m <sup>3</sup> /min	11	1
	3号脱臭ファン	ターボファン	ターボファン 160m <sup>3</sup> /min	18.5	1
	1号活性炭吸着塔	立型	立型 40m <sup>3</sup> /min	—	1
	2号活性炭吸着塔	立型	立型 70m <sup>3</sup> /min	—	1
	3号活性炭吸着塔	立型	立型 160m <sup>3</sup> /min	—	1
	活性炭吊揚機	手動チェーンブロック	手動チェーンブロック 1t	—	1
送風機設備	1、2号送風機	歯車増速式単段ブローア	φ200mm×φ200mm×40m <sup>3</sup> /min	75	2
	1、2号電動吐出弁	電動仕切弁	φ200mm	0.2	2
	3号送風機	歯車増速式単段ブローア	φ300mm×φ250mm×80m <sup>3</sup> /min	130	1

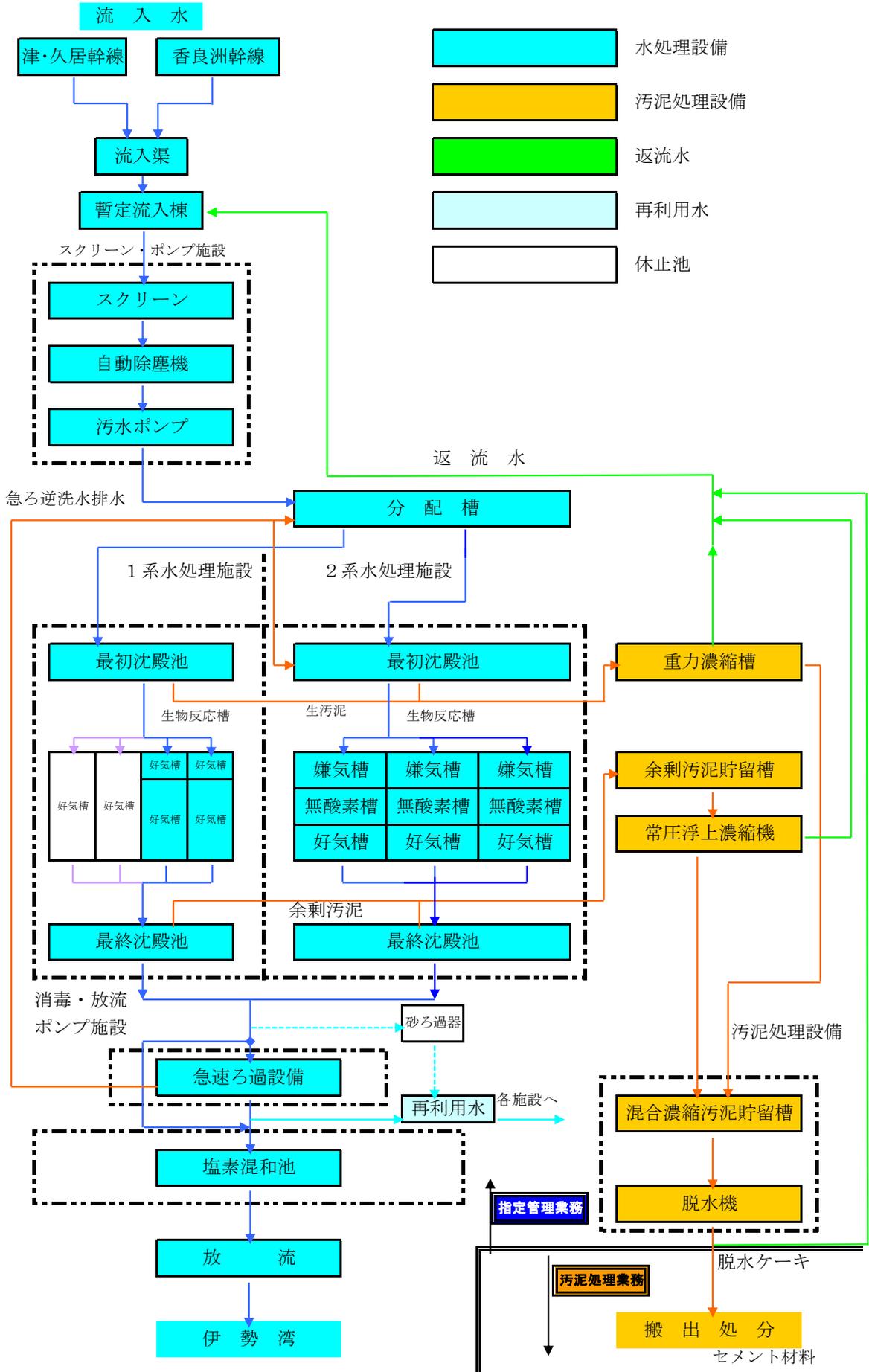
設備	機器名	規格又は仕様		電気容量[kW]	台数
送風機設備	3号電動吐出弁	電動仕切弁	φ 250mm	0.2	1
	4号送風機	歯車増速式単段ブローア	φ 300mm× φ 250mm×100m <sup>3</sup> /min	150	1
	4号電動吐出弁	電動仕切弁	電動仕切弁 φ 300mm	0.4	1
	湿式空気ろ過器	回転油膜式	回転油膜式 270m <sup>3</sup> /min	0.2	1
	乾式空気ろ過器	自動巻取式	自動巻取式 270m <sup>3</sup> /min	0.2	1
	1、2号冷却塔		210 L/min	0.4	2
	冷却水槽	角型FRP <sup>®</sup> 補水槽		—	1
	天井クレーン		5t×5m	—	1
	1、2、3号冷却水ポンプ	片吸込多段渦巻ポンプ	片吸込多段渦巻ポンプ 0.21m <sup>3</sup> /min	3.7	3
その他	受変電設備	6.6kV tr1台(500kVA)	6.6kV tr1台(500kVA)	500kVA	一式
	1号自家発電設備	ガスタービーン	3φ 3W 6.6kV	1,250kVA	1
急速ろ過設備	原水流入ゲート	手動仕切弁	W1000×h1000mm 手動	—	1
	バypassゲート	手動仕切弁	φ 1350mm 手動	—	1
	2系処理水流入ゲート	手動仕切弁	φ 1350mm 手動	—	1
	流入ゲート	手動仕切弁	W500×h500mm 電動	0.4	5
	流入ゲート	手動仕切弁	W500×h500mm 手動	—	1
	流入可動堰	手動可動堰	W600×h400mm 手動	—	5
	原水ポンプ(A)	水中ポンプ	水中ポンプ 19.0m <sup>3</sup> /min	45	3
	原水ポンプ(B)	水中ポンプ	水中ポンプ 9.5m <sup>3</sup> /min	22	2
	砂ろ過装置	重力式下向流	重力式下向流(W6.0m×L5.5)	—	5
	処理水弁	電動仕切弁	φ 400 電動	0.4	5
	逆洗水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	両吸込渦巻ポンプ 13.2m <sup>3</sup> /min	22	5
	逆洗水流入弁	電動仕切弁	φ 500 電動	0.4	5
	捨水ゲート	電動仕切弁	W250×h250mm 電動	0.4	5
	逆洗排水ゲート	電動仕切弁	W600×h900mm 電動	0.75	5
	空洗ブロワ	ルーツブローア	ルーツブロワ 20m <sup>3</sup> /min	30	3
	空洗弁	電動仕切弁	φ 300 電動	0.2	5
逆洗排水ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ 1.8m <sup>3</sup> /min	11	3	
急速ろ過設備	逆洗排水槽攪拌機	水中ミキサー	水中ミキサー	2.5	2
	ろ過水移送ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 2.2m <sup>3</sup> /min	11	2
	脱水機棟給水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 3.0m <sup>3</sup> /min	22	2
	原水ポンプ 搬出入装置	手動式チェーンロック	手動式チェーンロック 2t	—	1
	原水ポンプ 吐出弁	手動偏心構造弁	手動偏心構造弁 φ 400	—	5
	原水ポンプ 逆止弁	逆止弁	スイング式逆止弁 φ 400	—	5
	処理水止弁	蝶形弁	蝶形弁 φ 400	—	5
	逆洗水流入止弁	蝶形弁	蝶形弁 φ 500	—	5
	機器搬出入装置	手動式チェーンロック	手動式チェーンロック 2t	—	1
	ブロー室床排水ポンプ	水中ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	1.5	2
	管廊床排水ポンプ	水中ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	1.5	2
その他	受変電設備	6.6kV tr1台(500kVA)	6.6kV tr1台(500kVA)	500kVA	一式
場内用水設備	原水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 0.85m <sup>3</sup> /min	7.5	2

設備	機器名	規格又は仕様		電気容量[kW]	台数
場内用水設備	砂ろ過器	立形圧力式砂ろ過器	立形圧力式砂ろ過器 40m <sup>3</sup> /h	—	2
	送洗ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 3.4m <sup>3</sup> /min	18.5	2
	逆洗ブローア	ルーツブローア	ルーツブローア 4.9m <sup>3</sup> /min	11	2
	ろ過水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 2.4m <sup>3</sup> /min	15	2
	除湿器	冷凍式空冷	冷凍式空冷 350 L/min	0.2	1
	用水床排水ポンプ	水中汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min	1.5	2
	消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 0.5m <sup>3</sup> /min	3.7	1
	ろ過水給水ユニット	圧力タンク付自動給水装置	圧力タンク付自動給水装置 0.37m <sup>3</sup> /min	5.5×2	2
	砂ろ過空気圧縮機			1.5×2	1
消毒設備	次亜塩素素貯留槽	立型定置式FRP製タンク	立型定置式FRP製タンク 5m <sup>3</sup>	—	2
	次亜塩素素注入ポンプ(A)	ダイヤフラムポンプ	ダイヤフラムポンプ 0.75~0.04 L/min	0.4	2
	次亜塩素素注入ポンプ(B)	ダイヤフラムポンプ	ダイヤフラムポンプ 0.75~1.5 L/min	0.4	1
重力濃縮設備	1号汚泥スクリーン	回転式ドラム型	回転式ドラム型	0.75	1
	1号汚泥掻寄機	中央駆動懸垂形	中央駆動懸垂形 φ8m×h3m	0.4	1
	汚泥スクリーン棟床排水ポンプ	水中汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 65A×0.3m <sup>3</sup> /min	1.5	2
	し査搬出機	ジブクレーン	ジブクレーン 2t×h4m×スパン3m	—	1
	1-1、1-2号濃縮汚泥ポンプ	一軸ネジ式ポンプ(可変容量)	一軸ネジ式(可変容量) 4.8~12m <sup>3</sup> /h×60m	7.5	2
	1号・2-1号・2-2号分配可動堰	手動可動堰	W300×h200mm 手動	—	3
	3号分配可動堰	手動可動堰	W600×h200mm 手動	—	1
	2号汚泥掻寄機	中央駆動懸垂形	中央駆動懸垂形 φ12m×h3m	0.75	1
	1、2号濃縮汚泥引抜弁	電動偏心構造弁	電動偏心構造弁	0.2	2
	1、2号余剰汚泥貯留槽攪拌機	立形パドル式	立形パドル式 70m <sup>3</sup> φ1,400mm	5.5	2
機械濃縮設備	1、2号余剰汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ(可変容量)	一軸ネジ式(可変容量) 31~63m <sup>3</sup> /h	15	2
	1号浮上濃縮機	常圧浮上濃縮機	常圧浮上濃縮機 10m <sup>2</sup> 25kg-DS/m <sup>2</sup> ・h	9.2	1
	1号脱気槽攪拌機	立形攪拌機	立形攪拌機	2.2	1
	1号、2号浮上用空気圧縮機	可搬式オイルフリー形	可搬式オイルフリー形 825 L/分	7.5	2
	浮上用空気除湿器	冷凍式除湿器	冷凍式除湿器 825 L/分	0.34	1
	1号、2号浮上用凝集剤供給機	可変連続定量供給機	可変連続定量供給機 0.6 L/分	0.2	2
	1号、2号浮上用凝集剤溶解槽攪拌機	立形攪拌機	立形攪拌機	1.5	2
	1号、2号浮上用凝集剤注入ポンプ	一軸ネジ式ポンプ(可変容量)	一軸ネジ式(可変容量)	0.4	2
	1号、2号起泡剤希釈槽攪拌機	立形攪拌機	立形攪拌機	0.1	2
	1号、2号起泡剤注入ポンプ	ダイヤフラム式定量ポンプ	ダイヤフラム式定量ポンプ 80~320cc/分	0.2	2
	1号、2号起泡剤用水ポンプ	横軸渦巻ポンプ	横軸渦巻ポンプ 162L/分	1.5	2
	浮上用凝集剤吊上機	電動チェーンブロック(キヤートトリ付き)	電動トリ付チェーンブロック 1ton	1.6	1
	1号、2号余剰汚泥受入弁	空気作動式偏心構造弁	空気作動式偏心構造弁 φ150mm	—	2
	1号、2号浮上濃縮汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁	空気作動式偏心構造弁 φ400mm	—	2
	1、2号混合汚泥貯留槽攪拌機	立形攪拌機	立形攪拌機 58.5m <sup>3</sup> φ1,400mm	7.5	2
	脱水設備	1-1、1-2号汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ	一軸ネジポンプ φ80mm 3~9m <sup>3</sup> /h	5.5
2、3、4号汚泥供給ポンプ		一軸ネジ式ポンプ	一軸ネジポンプ φ100mm 4.8~19.2m <sup>3</sup> /h	7.5	3
1号汚泥脱水機		高効率型ベルトプレス	高効率型ベルトプレス ろ布巾 1.5m	6	1
2、3、4号汚泥脱水機		高効率型ベルトプレス	高効率型ベルトプレス ろ布巾 3.0m	5.6	3

設備	機器名	規格又は仕様		電気容量[kW]	台数
脱水設備	1-1号ケキ搬送コンベア	トラフ型ベルトコンベア	トラフ型ベルトコンベア W0.6×L19m	1.5	1
	1-2号ケキ搬送コンベア	トラフ型ベルトコンベア	トラフ型ベルトコンベア W0.6×L19m	1.5	1
	1、2号ケキ貯留ホッパー	角形油圧カッター式	角形油圧カッター式 10m <sup>3</sup>	2.2	2
	1、2、3号薬品コンテナ		有効容量 0.5m <sup>3</sup>	—	3
	1、2、3号薬品供給機	可変連続定量供給機	可変連続定量供給機 Max4.0 L/min	0.4	3
	1号薬品溶解タンク	鋼板製立形	鋼板製立形攪拌槽 有効容量 12.0m <sup>3</sup>	5.5	3
	1、12号薬品供給ポンプ	一軸シブ式ポンプ	一軸ネジポンプ 32A 0.15～0.6m <sup>3</sup> /h	0.75	2
	2、3、4号薬品供給ポンプ	一軸シブ式ポンプ	一軸ネジポンプ 50A 1.0～3.6m <sup>3</sup> /h	2.2	2
	1号ろ布洗浄ポンプ	横軸多段渦巻ポンプ	横軸多段渦巻ポンプ 0.15m <sup>3</sup> /min×55m	3.7	1
	12、2号ろ布洗浄ポンプ	横軸多段渦巻ポンプ	横軸多段渦巻ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min×55m	5.5	2
	3、4号ろ布洗浄ポンプ	横軸多段渦巻ポンプ	横軸多段渦巻ポンプ 0.3m <sup>3</sup> /min×80m	7.5	2
	1号ろ過水給水ユニット	圧力タンク式自動給水装置	圧力タンク式自動給水装置 0.37m <sup>3</sup> /min×40m	15	1
	2号ろ過水給水ユニット	圧力タンク式自動給水装置	圧力タンク式 0.4m <sup>3</sup> /min×40m	11	2
	上水槽	角型FRPヘルメット水槽	角型FRPヘルメット 有効容量8m <sup>3</sup> W2×L3×h2m	—	1
	上水給水ユニット	圧力タンク式自動給水装置	圧力タンク式自動給水装置 0.4m <sup>3</sup> /min×20m	3.7	2
	脱水用空気圧縮機	可変型圧力開閉式	可変型圧力開閉式 0.6m <sup>3</sup> /min×0.83MPa	5.5	2
	脱水用除湿器	空冷冷凍式	空冷冷凍式 0.83m <sup>3</sup> /min	0.3	1
	脱水用空気槽	円筒槽	円筒槽 1.0m <sup>3</sup>	—	1
脱水機用天井クレーン	手動式チェーンブロック	手動式チェーンブロック 2t×8m	—	3	
脱水設備	薬品コンテナ吊上機	電動式チェーンブロック	電動式チェーンブロック 2t×14m	0.7	1
	1、2号重力濃縮汚泥投入弁	空気作動式偏心構造弁	空気作動式偏心構造弁 φ150mm	—	2
	1、2号混合濃縮汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	空気作動式偏心構造弁 φ150mm	—	2
	1、2号ろ過水受入弁	空気作動式偏心構造弁	空気作動式偏心構造弁 φ150mm	—	2
脱臭設備	1、2号汚泥棟脱臭ファン	片吸込ターボファン	片吸込ターボファン FRP25m <sup>3</sup> /min×3.92kPa	5.5	2
	1号汚泥棟活性炭吸着塔		25m <sup>3</sup> /min	—	1
	活性炭吊上機	手動式チェーンブロック(ギヤードトリ付)	手動ギヤードトリ付チェーンブロック 2t×5m	—	1
	生物脱臭塔	充填塔式生物脱臭装置	充填塔式生物脱臭装置 50m <sup>3</sup> /分	—	1
	循環散水ポンプ	立軸型耐蝕ポンプ	立軸型耐蝕ポンプ	2.2	4
	希釈水槽	角型槽	角型槽 0.65m <sup>3</sup>	—	1
その他	受変電設備		6.6kV tr1台(500kVA)	500kVA	一式
	受変電設備		6.6kV tr2台(150kVA、100kVA)	250kVA	一式
ポンプ設備	流入ゲート	電動仕切弁(自動降下付)	自動降下付電動ゲート W800×h800mm	0.75	1
	自動除塵機	連続式裏搔式	連続式裏搔式 W1,000×h1,950mm	0.4	1
	汚水ポンプ	水中汚水ポンプ φ100mm×1.83m <sup>3</sup> /min	水中汚水ポンプ φ100mm×1.83m <sup>3</sup> /min	11	4
	ポンプ井連通バルブ	外ネジ式ソフトシール弁	外ネジ式ソフトシール弁 φ350mm	—	1
脱臭設備	ミストセパレーター	慣性衝突式	慣性衝突式 5.0m <sup>3</sup> /min	—	1
	脱臭ファン	片吸式ターボ式	片吸式ターボ式 5.0m <sup>3</sup> /min	0.75	1
	活性炭吸着塔	カートリッジ式	カートリッジ式 酸性・塩基性・中性 5.0m <sup>3</sup> /min	—	1
	ホイスト	手動式チェーンブロック	チェーンブロック 1t×12m	1.4	1
その他	受変電設備		6.6kV Mtr1台	75kVA	一式
	自家発電設備		3φ 3W 210V	75kVA	1

# (5) 雲出川左岸浄化センター 処理フローシート

(平成24年4月1日現在)



## (6)水質管理状況

### ア 水質管理状況の概況

#### (ア) 流入水量

平成 23 年度における日平均流入水量は、24,228 m<sup>3</sup> で、22 年度の 23,396 m<sup>3</sup> と比較して約 832 m<sup>3</sup> (約 3.6%) 増加した。なお、過去 5 年間の流入水量増加量は、-44 m<sup>3</sup>、1,200 m<sup>3</sup>、770 m<sup>3</sup>、-1,440 m<sup>3</sup>、832 m<sup>3</sup>となっているが、22 年度が減少したのは、津市内での降雨量が 21 年度の 1/3 程度と極端に少なくなったためと考えられる。

平成 23 年度において降雨による影響が最も顕著に表れたのは、平成 23 年 9 月 21 日 (降水量 117 mm) で日最大流入量 65,861 m<sup>3</sup>を記録した。

#### (イ) 流入水質(BOD、COD、SS、全窒素、全りん、有害物質)

平成 23 年度における平均流入水質は、BOD、COD、SS 濃度それぞれ 160、110、210mg/L であった。また、全窒素、全りん濃度はそれぞれ 31、4.1mg/L であった。

なお、流入水中の有害物質(水質汚濁防止法に定められている項目のうち、人の健康に関わる被害を生じる恐れのある物質) 27 項目については、年間を通じて「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物」の項目を除いた全ての項目で報告下限値未満であり、これらが水処理に影響を及ぼすことはなかった。

#### (ウ) 放流水質(BOD、COD、SS、全窒素、全りん、有害物質)

平成 23 年度における平均放流水質は、BOD、COD、SS、全窒素、全りん濃度それぞれ 2.9、7.5、1 未満、7.4、0.4mg/L であった。

なお、放流水中の有害物質 27 項目については、年間を通じて「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物」の項目を除いた全ての項目で報告下限値未満であった。

#### (エ) 放流先の環境保全に係る運転管理

窒素、りん対策のため、平成 12 年度から、嫌気好気法による施設を設置、また平成 15 年度には A2O 法(嫌気—無酸素—好気法)による施設を増設し、運転を行っている。

法令に基づく排水基準値および水質自主管理目標値

項 目	排 水 基 準 値	水質自主管理目標値
BOD (mg/L)	15	10
COD (mg/L)	100	15
SS (mg/L)	40	5
全窒素 (mg/L)	18	15
全りん (mg/L)	1.6	1.3
pH (----)	5.8～8.6	5.8～8.6

イ 月別の水質管理状況

4月

日平均流入水量は、22,133 m<sup>3</sup>で3月に比べ135 m<sup>3</sup>減となった。これは、月降水量の減少によるものと考えられる。

生物反応槽の水温は、19～21℃で推移し、MLSSを1,900～2,100mg/L程度に維持することを目標に運転した。

5月

日平均流入水量は、24,740 m<sup>3</sup>で4月に比べ2,607 m<sup>3</sup>増となった。これは、月降水量が増加し、不明水がこれに伴い増加したものと考えられる。不明水対策として1系を適宜、嫌気好気活性汚泥法から凝集剤添加活性汚泥法へ切り替えて運転した。

生物反応槽の水温は、21～23℃で推移し、MLSSを1,800～1,900mg/L程度に維持することを目標に運転した。

6月

日平均流入水量は、27,138m<sup>3</sup>で5月に比べ2,398 m<sup>3</sup>増となった。これは、月降水量が増加し、不明水がこれに伴い増加したものと考えられる。

生物反応槽の水温は、23～26℃で推移し、MLSS の運転目標値もこれに対応して1,700～1,900mg/Lとし、余剰汚泥引き抜き量とDO管理に注意して運転した。不明水の影響が長期に及んだため、1系を標準活性汚泥法として運用した。これに伴い窒素およびりんの除去率の低下が若干確認された。

7月

日平均流入水量は、25,293 m<sup>3</sup>で6月に比べ1,845 m<sup>3</sup>減となった。これは月降水量が前月と比べ

減少したものと考えられる。

生物反応槽の水温は、26～28℃で推移し、MLSSを1,400～1,700mg/L程度に維持することを目標に運転した。

海水浴シーズンを迎えたため、放流水における大腸菌群数に留意した消毒を行ったことから、大腸菌群数は10個/cm<sup>3</sup>以下で推移した。

## 8月

日平均流入水量は、23,163 m<sup>3</sup>で7月に比べ2,130 m<sup>3</sup>減となった。これは、月降水量が減少したことによる影響と考えられる。

生物反応槽の水温は、年間最高の27～29℃台となり、MLSSの目標値も年間最小の1,600mg/Lとし、余剰汚泥引抜量とDO管理に注意して運転した。

1系のりん処理は1日を通じて不安定な状態が続いた。このため、運転方法を標準活性汚泥法から嫌気好気活性汚泥法へ戻したところりん除去率は改善傾向を示した。

## 9月

日平均流入水量は、28,485 m<sup>3</sup>で8月に比べ5,322 m<sup>3</sup>増加した。これは台風(12号および15号)による不明水流入の影響が大きかったためと考えられる。

不明水の影響による流入負荷の増加および汚泥配管トラブルに伴う生汚泥・余剰汚泥引抜中断によって、MLSSが上昇した。このため、汚泥配管トラブル復旧後に余剰汚泥引抜量の調整を行った。

生物反応槽の水温は、26～28℃で推移し、MLSSを1,600～2,000mg/Lに維持することを目標に運転した。

## 10月

日平均流入水量は、24,047 m<sup>3</sup>で9月に比べ4,438 m<sup>3</sup>減となった。これは月降雨量の減少によるものと考えられる。

生物反応槽の水温は、24～26℃台となり、MLSS値の運転目標値もこれに対応して1,700mg/Lとし、余剰汚泥引抜量とDO管理に注意して運転した。

1系における生物反応槽のSVI値は100mL/gで推移したが、2系のSVI値は月間平均値450mL/gと上昇した。

## 11月

日平均流入水量は、23,262 m<sup>3</sup>で10月に比べ785 m<sup>3</sup>減となった。これは月降雨量の減少による

ものと考えられる。

生物反応槽の水温は、22～25℃となり、MLSS 値の運転目標値もこれに対応して 1,700～1,900mg/L 程度に維持することを目標に運転した。

放流水における月平均全窒素濃度は 8.1mg/L で、10 月より 0.8mg/L 上昇した。その対策として、放流水全窒素濃度が 9.0mg/L 以上となった際に 2 系循環率を 140 から 150% に引き上げ、硝化率の向上を図った。

## 12 月

日平均流入水量は、22,877 m<sup>3</sup> で 11 月に比べ 385 m<sup>3</sup> 減となった。これは 10 月と同様に降水量が少なく不明水の影響が小さかったことによるものと考えられる。

生物反応槽の水温は、19～22℃ 台となり、MLSS の運転目標値もこれに対応して 1,600～1,900mg/L 程度として運転した。

## 1 月

日平均流入水量は、22,437 m<sup>3</sup> で 12 月に比べ 440 m<sup>3</sup> 減となった。これは降水量の減少によるものと考えられる。

生物反応槽の水温は、17～19℃ 台となり、MLSS を 1,700～2,000mg/L 程度に維持することを目標に運転した。

放流水の水質は、年末から年始にかけて流入負荷量の変動により、正月に全窒素、全りん濃度が若干上昇した。

## 2 月

日平均流入水量は、23,099 m<sup>3</sup> で前月に比べ 662 m<sup>3</sup> 増となった。

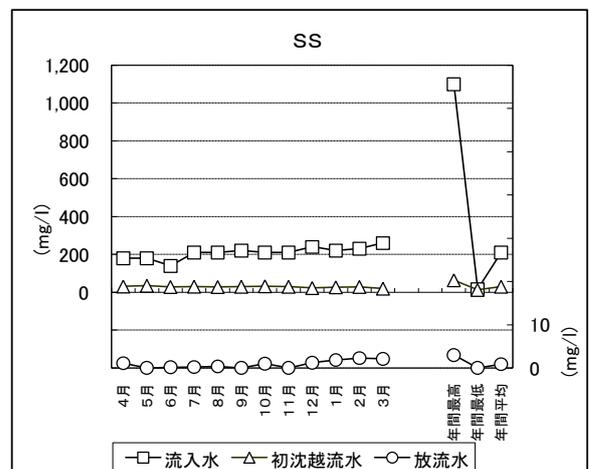
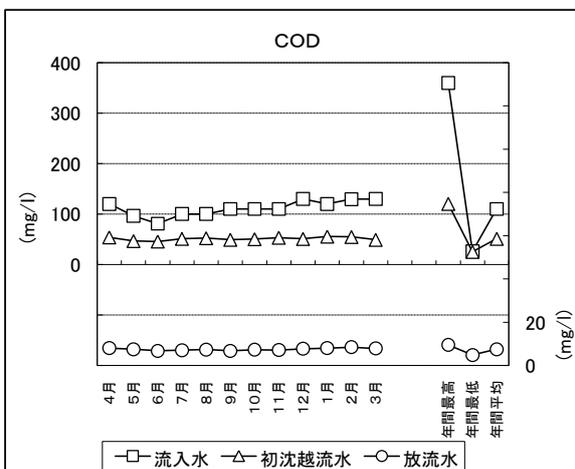
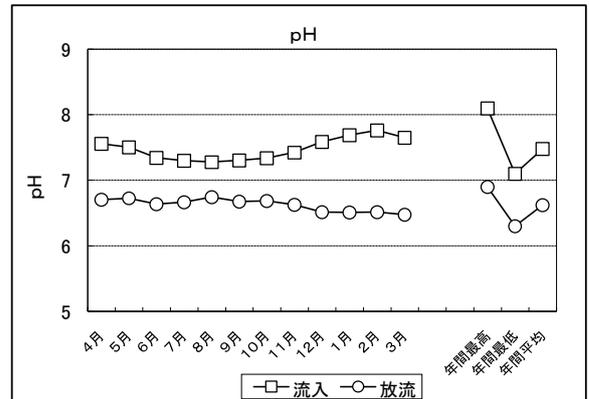
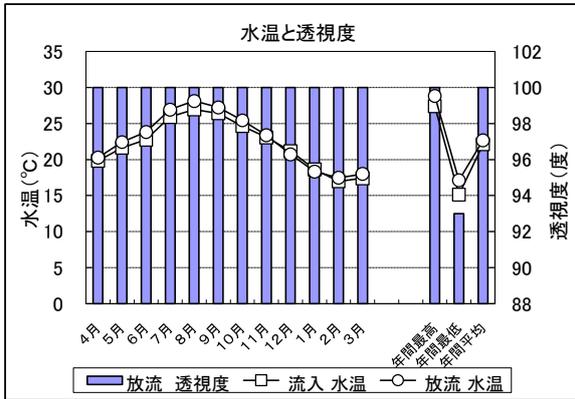
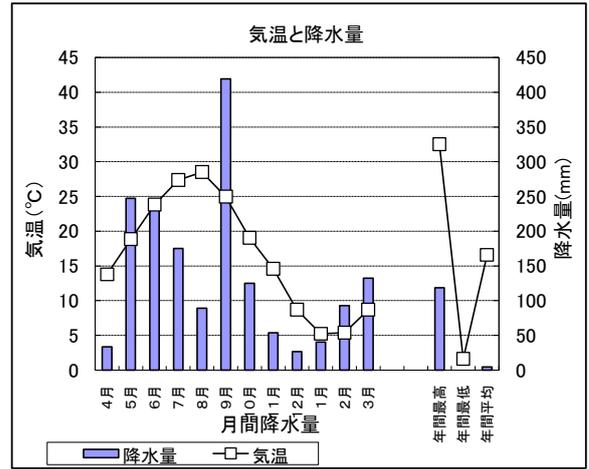
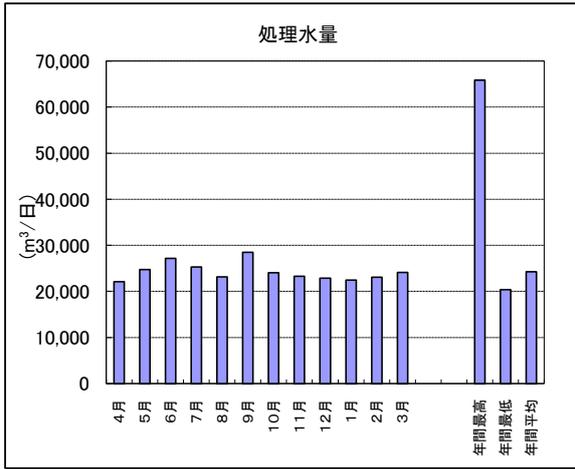
生物反応槽の水温は、17～19℃ 台となり、MLSS を 2,100mg/L 程度に維持することを目標に運転した。

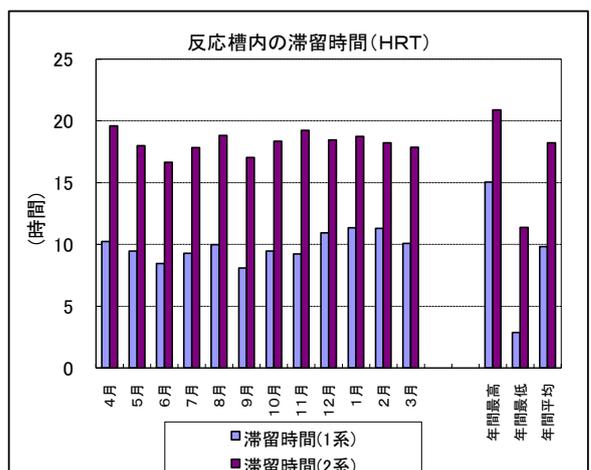
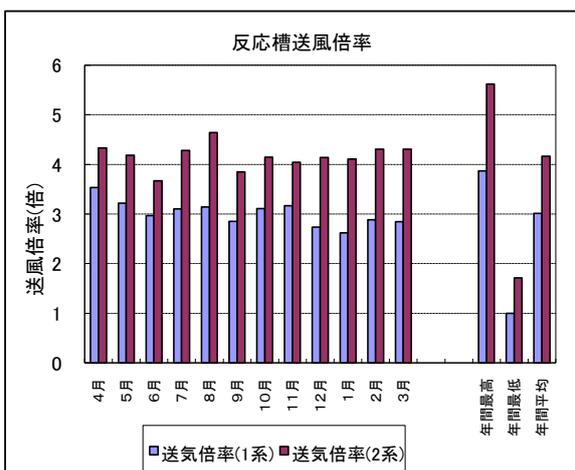
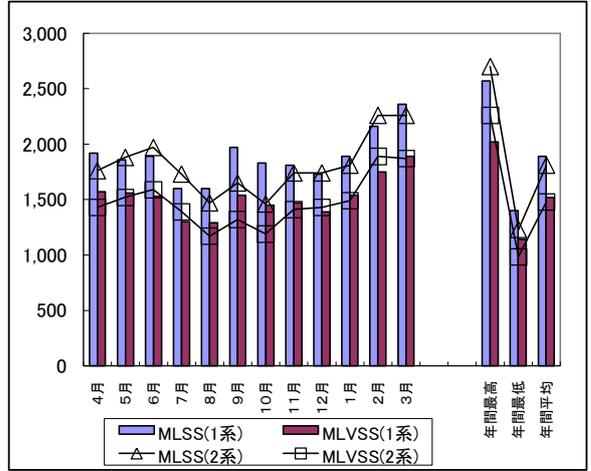
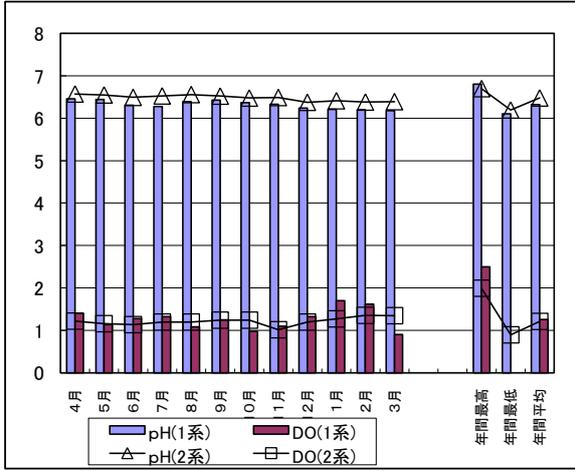
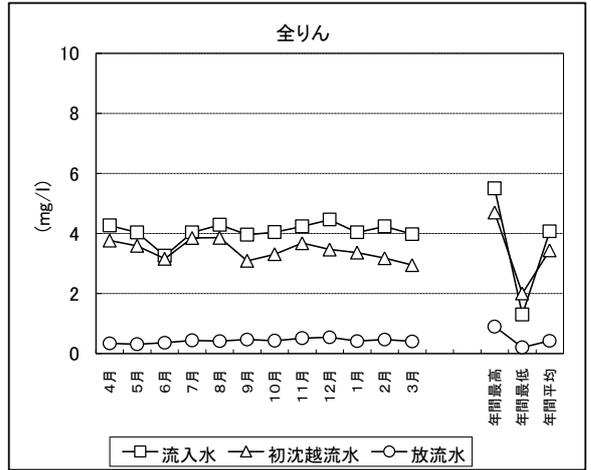
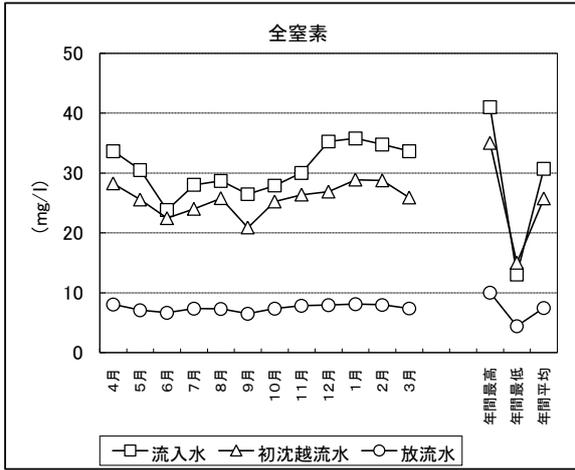
重力濃縮汚泥の移送配管閉塞に伴い 5 日間の余剰汚泥の引抜を停止を実施した。これにより MLSS は 1 系、2 系ともに一時的に 2,400mg/L 台まで上昇した。

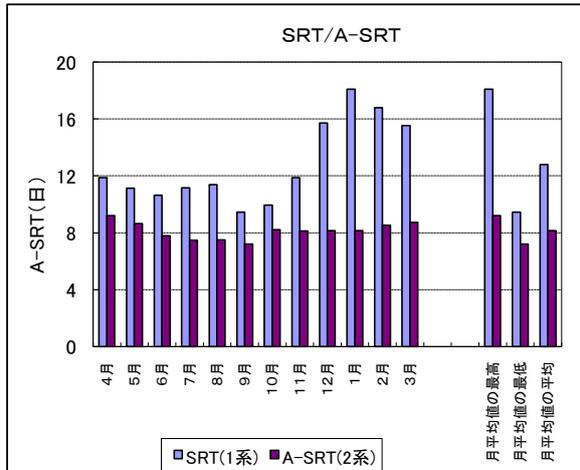
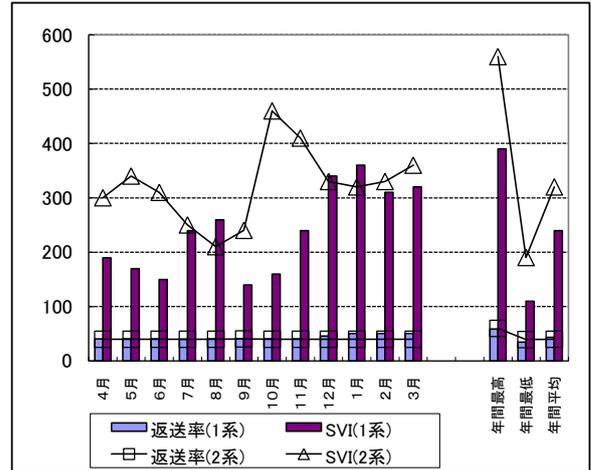
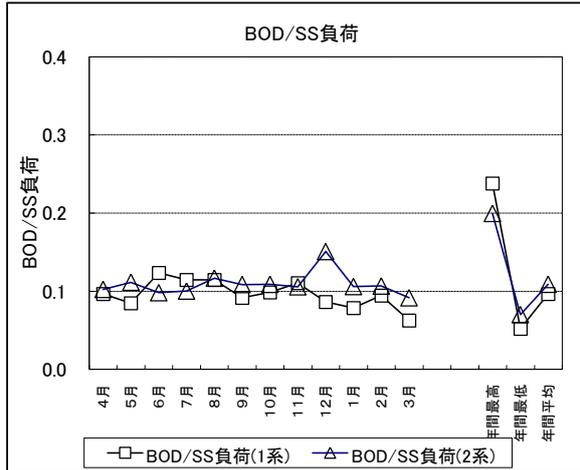
## 3 月

日平均流入水量は、24,127 m<sup>3</sup> で 2 月に比べ 1,028 m<sup>3</sup> 増となった。これは降雨量の増加によるものと考えられる。

生物反応槽の水温は、17～19℃ 台で推移した。MLSS 運転管理目標値は 2,100mg/L を維持した。







- 注)
- 1 各月のデータは、その月平均値
  - 2 年間最高値は、年間の総データの最高値
  - 3 年間最低値は、年間の総データの最低値
  - 4 年間平均値は、月平均の平均値
  - 5 降水量の各月のデータは、日降水量の月合計値。



(10)施設点検業務の概要

施設点検整備概要		
番号	工 事 名 称	整 備 内 容
1	汚泥処理棟 1号汚泥脱水機・2号余剰汚泥貯留槽攪拌機 分解点検整備	脱水ローラー、ベアリング、アライニングロール張替、ろ布駆動用減速機、凝集混和槽攪拌機、余剰汚泥貯留槽攪拌機ゴムライニング等
2	汚泥脱水棟 2号余剰汚泥貯留槽攪拌機(減速機・電動機)分解点検整備	2号余剰汚泥貯留槽攪拌機の減速機及び電動機の分解点検整備
3	送風機棟 非常用発電設備回転計取替修繕	回転計の取替
4	煙感知器等取替修繕	煙感知器等の取替
5	香良洲幹線空気弁点検整備	香良洲幹線空気弁の点検及び消耗部品の交換整備

設備故障状況及び処置概要		
番号	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
1	中央監視室 監視制御装置用モニターNO3不具合	モニター取替修繕
2	スクリーンポンプ棟 吸気ファン異音	モーターの軸ベアリングを行う
3	汚泥処理棟 電気室給気ファン(FS-1)電動機ベアリング不具合	電動機ベアリングの交換を行う
4	汚泥処理棟換気機械室内線電話不具合	内線電話機交換により対応
5	汚泥処理棟除湿機動作不具合	オートドレイントラップの取替を行う
6	汚泥処理棟浮上用空気除湿機動作不具合	オートドレイントラップの取替を行う
7	汚泥処理棟 電気室給気ファン(FS-2)電動機ベアリング不具合	電動機ベアリングの交換を行う
8	汚泥処理棟 2号浮上濃縮汚泥投入弁エアレギュレータ動作不具合	エアレギュレータの交換を行う
9	汚泥処理棟 2号・3号脱水用薬品溶解タンク引抜弁動作不具合	ダイヤフラムバルブの分解整備を行う
10	汚泥処理棟 電気室排気(FE-2)電動機ベアリング異音不具合	ベアリング部の取替を行う
11	汚泥処理棟 電気室給気(FS-2)電動機ファン不具合	ファンの取替を行う
12	公社備品 汚水用水中ポンプ(2台)フロートスイッチ不具合	フロートスイッチの取替を行う
13	自家発電設備セルモーターオイルシールの劣化	自家発電機のセルモーターのオイルシールの交換
14	汚泥処理棟 1階洗濯室 窓ガラス破損	窓ガラスの取替を行う
15	汚泥処理棟 空気配管閉塞不具合	空気配管分解清掃を行う
16	汚泥処理棟 除湿器動作不具合	除湿器本体の取替を行う
17	汚水用水中ポンプフロートスイッチ不具合	フロートスイッチの取替を行う
18	暫定流入ポンプ棟 外部照明器具不具合	照明器具の取替を行う
19	中央監視室 インターホン不具合	インターホンの取替を行う
20	自動水栓 動作不具合	単水栓に取り替える
21	2号送風機 吸込温度指示計不具合	温度指示計の交換を行う。
22	4号送風機軸受温度計不具合	軸受温度計の取替を行う。
23	汚泥処理棟FS-11電動機ベアリング異音不具合	ベアリングの取替を行う。
24	1系水処理 1-1号初沈汚泥掻寄せ機 地上部駆動チェーン不具合	駆動部チェーン交換及び張張り調整
25	管理本館上水受水槽ポールタップ不具合	ポールタップの交換
26	送風機棟 2階器具室 換気扇カバー取付枠不具合	フード及び取付枠取替
27	1系初沈 スカムビット天蓋不具合	天蓋部取替
28	管理棟 ガスボンベ貯蔵庫東側外壁タイル不具合	外壁タイル部分修正
29	汚泥処理棟 1号起泡揚水ポンプ不具合	相フランジのボルト、パッキンの取替
30	急速ろ過棟 1号原水ポンプ不具合	1号ポンプ破損部品取替修繕
31	汚泥処理棟 屋外外灯タイマー不具合	タイマー取替
32	管理本館 フラッグポール レギュレーター不具合	ハンドル取替
33	場内 地中電線路ハンドホール不具合	ゴムパッキン取替
34	2-3池風量制御調節(DO制御)	風量制御調節修理
35	固形塩素溶解用ろ過水配管より水漏れ不具合	止水栓、止水フランジ取替(予備品使用)
36	1号汚泥棟 1号汚泥棟脱臭ファン 電動機異音不具合	ベアリングの取替
37	汚泥処理棟 2号混合濃縮汚泥貯留槽攪拌機 原動機異音不具合	ベアリングの取替
38	1号汚泥処理棟 1号余剰汚泥貯留槽攪拌機 オイル漏れ不具合	オイル漏れ修理
39	汚泥処理棟 電気室 ミニUPS表示部不具合	中勢下水のて対応(ミニUPS取替)
40	1系-3・4 MLSS計用ろ過水配管不具合	配管取替
41	1系ろ過水配管より水漏れ不具合	配管取替
42	汚泥処理棟 濃縮汚泥配管穴開不具合	配管取替
43	汚泥処理棟 1-2号ケーキ搬送コンベアキャリアローラ動作不具合	キャリアローラ取替
44	汚泥スクリーン棟 1-1号濃縮汚泥引抜弁プラグ部ライニング不具合	濃縮汚泥引抜弁取替



項目 月	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> -N		NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> -N		NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> -N		全りん		PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> -P		色度		濁度		陰イオン 界面活性剤	
	mgN/l		mgN/l		mgN/l		mg/l		mgP/l		度		度		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
区分	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	24	0.2	<0.1	0.0	<0.1	7.1	4.3	0.3	2.2	0.2	—	—	—	—	3.2	<0.1
5月	21	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	6.2	4.0	0.3	2.0	0.2	—	—	—	—	3.5	<0.1
6月	18	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	5.1	3.3	0.4	1.7	0.2	—	—	—	—	2.6	<0.1
7月	18	0.4	<0.1	<0.1	<0.1	6.3	4.0	0.4	1.8	0.3	—	—	—	—	3.9	<0.1
8月	18	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	6.5	4.3	0.4	2.1	0.3	—	—	—	—	2.4	<0.1
9月	17	0.3	0	<0.1	<0.1	5.7	4.0	0.5	2.0	0.4	—	—	—	—	5.2	<0.1
10月	18	0.2	0.1	<0.1	<0.1	6.6	4.0	0.4	1.9	0.4	—	—	—	—	3.8	<0.1
11月	21	0.2	<0.1	<0.1	0.1	6.9	4.2	0.5	2.4	0.4	—	—	—	—	4.7	<0.1
12月	24	0.6	<0.1	<0.1	<0.1	6.6	4.5	0.5	2.0	0.4	—	—	—	—	6.1	<0.1
1月	25	1.0	<0.1	<0.1	<0.1	6.4	4.0	0.4	1.9	0.3	—	—	—	—	3.8	<0.1
2月	24	0.9	<0.1	<0.1	<0.1	6.3	4.2	0.5	1.8	0.3	—	—	—	—	3.9	<0.1
3月	22	0.2	0.1	<0.1	<0.1	6.2	4.0	0.4	1.8	0.2	—	—	—	—	3.3	<0.1
最高	28	2.3	0.5	0.3	1.0	7.8	5.5	0.9	3.2	0.8	—	—	—	—	7.5	<0.1
最低	13	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3.4	1.3	0.2	0.9	<0.1	—	—	—	—	1.9	<0.1
平均	21	0.4	<0.1	<0.1	<0.1	6.3	4.1	0.4	2.0	0.3	—	—	—	—	3.9	<0.1
測定回数	100	101	100	101	99	100	101	104	100	101	—	—	—	—	24	24
放流基準値		—		—		—		16(8)		—		—		—		—

項目 月	n-ヘキサン 抽出物質		フェノール類		銅		亜鉛		溶解性鉄		溶解性マンガン		全クロム		カドミウム	
	mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
区分	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	28	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
5月	44	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
6月	28	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
7月	26	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
8月	38	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
9月	26	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
10月	38	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
11月	20	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
12月	28	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
1月	41	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
2月	120	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
3月	27	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最高	180	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最低	13	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
平均	39	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値		5 動植物油 30		1		1		2		10		10		2		0.1



項目 月	1,1,2-トリクロロエタン		1,3-ジクロロプロペン		チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		ふつ素	
	mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
5月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
6月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
7月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
8月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
9月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
10月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
11月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
12月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
1月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
2月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
3月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最高	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最低	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
平均	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値		0.06		0.02		0.06		0.03		0.2		0.1		0.1		15

項目 月	ほう素		1,4-ジオキサン		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物の合計	
	mg/l		mg/l		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	<1	<1	<0.005	<0.005	9.0	5.2
5月	<1	<1	<0.005	<0.005	7.8	4.7
6月	<1	<1	<0.005	<0.005	6.7	4.6
7月	<1	<1	<0.005	<0.005	7.0	5.5
8月	<1	<1	<0.005	<0.005	6.7	5.6
9月	<1	<1	<0.005	<0.005	5.8	5.6
10月	<1	<1	<0.005	<0.005	6.8	5.8
11月	<1	<1	<0.005	<0.005	8.0	6.6
12月	<1	<1	<0.005	<0.005	9.1	6.5
1月	<1	<1	<0.005	<0.005	9.4	5.9
2月	<1	<1	<0.005	<0.005	8.7	6.1
3月	<1	<1	<0.005	<0.005	8.9	5.6
最高	<1	<1	<0.005	<0.005	9.4	6.8
最低	<1	<1	<0.005	<0.005	5.8	3.8
平均	<1	<1	<0.005	<0.005	7.8	5.6
測定回数	24	24	<0.005	<0.005	24	24
放流基準値		230		—		100

備考

1. 数値は各月の平均値である。
2. 各月の透視度の平均は、測定結果が100度を超えた場合、“100度”として算出している。
3. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。
4. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
5. 「平均」は月平均の平均値である。
6. 放流基準値の( )内の数値は日間平均値を示す。

イ 生物反応槽試験

1系:標準活性汚泥法

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C	—	mg/l	%	mg/l	ml/g	mg/l	%	mg/l·h	mg/g·h
4月	20.4	6.5	1.4	35	1,920	190	1,570	82	9.4	4.9
5月	22.6	6.4	1.1	30	1,860	170	1,560	83	10	5.5
6月	23.8	6.3	1.3	28	1,890	150	1,530	81	12	6.2
7月	26.9	6.3	1.3	40	1,600	240	1,300	81	13	8.3
8月	28.1	6.4	1.1	41	1,600	260	1,290	81	8.9	5.5
9月	27.3	6.4	1.3	29	1,970	140	1,540	79	15	8.0
10月	25.4	6.4	1.0	31	1,830	160	1,450	79	9.0	4.9
11月	23.6	6.3	1.1	46	1,810	240	1,470	81	8.3	4.6
12月	21.0	6.2	1.3	53	1,730	340	1,390	80	7.7	4.5
1月	18.6	6.2	1.7	70	1,890	360	1,540	82	8.0	4.2
2月	17.6	6.2	1.6	69	2,160	310	1,750	81	9.7	4.5
3月	18.2	6.2	0.9	75	2,360	320	1,890	80	11	4.7
最高	28.8	6.8	2.5	82	2,570	390	2,020	84	27	16
最低	17.2	6.1	<0.5	19	1,400	110	1,140	77	6.6	3.4
平均	22.8	6.3	1.3	46	1,890	240	1,510	81	10	5.5
測定回数	244	244	51	244	51	51	51	51	51	51

2系:嫌気・無酸素・好気法

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C	—	mg/l	%	mg/l	ml/g	mg/l	%	mg/l·h	mg/g·h
4月	20.6	6.6	1.2	54	1,760	300	1,430	82	8.2	4.7
5月	22.7	6.6	1.2	63	1,880	340	1,520	81	9.2	4.9
6月	23.9	6.5	1.1	61	1,970	310	1,590	81	11	5.8
7月	27.0	6.5	1.2	46	1,730	250	1,390	80	10	6.0
8月	28.1	6.6	1.2	31	1,470	210	1,170	80	9.8	6.6
9月	27.4	6.5	1.3	42	1,650	240	1,320	80	9.5	5.8
10月	25.6	6.5	1.3	72	1,460	460	1,190	81	7.4	5.1
11月	23.7	6.5	1.0	71	1,740	410	1,410	81	7.7	4.5
12月	21.3	6.4	1.2	60	1,740	330	1,430	82	7.7	4.4
1月	19.0	6.4	1.3	60	1,810	320	1,490	83	17	9.6
2月	18.1	6.4	1.4	76	2,260	330	1,890	84	10	4.6
3月	18.6	6.4	1.4	81	2,260	360	1,870	83	10	4.5
最高	28.8	6.7	2.0	85	2,700	560	2,260	84	27	15
最低	17.7	6.2	0.9	18	1,230	190	984	79	6.3	3.8
平均	23.0	6.5	1.2	60	1,810	320	1,480	81	9.9	5.5
測定回数	244	244	51	244	51	51	51	51	51	51

ウ 返送汚泥試験

1系:標準活性汚泥法

項目	水温	pH	SV30	RSSS	SVI	RSVSS	有機分
	°C	—	%	mg/l	ml/g	mg/l	%
4月	20.3	6.6	100	5,380	190	4,390	82
5月	22.4	6.6	97	4,900	200	4,050	83
6月	23.9	6.4	96	4,900	200	3,990	81
7月	26.8	6.4	94	4,120	230	3,320	81
8月	28.2	6.5	97	3,750	260	3,020	80
9月	27.0	6.5	88	5,020	180	3,990	80
10月	25.0	6.5	91	4,420	210	3,560	79
11月	23.1	6.5	97	4,410	220	3,590	81
12月	20.2	6.4	94	3,590	270	2,850	79
1月	18.5	6.4	97	4,600	210	3,730	81
2月	17.0	6.4	99	5,660	180	4,560	80
3月	17.8	6.4	99	5,760	180	4,600	80
最高	29.2	6.7	100	7,440	310	5,830	85
最低	16.0	6.2	79	3,100	130	2,460	78
平均	22.5	6.5	95	4,710	210	3,800	81
測定回数	51	51	51	51	51	51	51

2系:嫌気・無酸素・好気法

項目	水温	pH	SV30	RSSS	SVI	RSVSS	有機分
	°C	—	%	mg/l	ml/g	mg/l	%
4月	20.6	6.6	100	6,480	160	5,250	81
5月	22.8	6.5	100	7,160	140	5,670	79
6月	24.4	6.4	100	7,540	130	6,030	80
7月	27.6	6.5	99	6,300	160	5,050	80
8月	28.6	6.5	100	5,500	190	4,320	78
9月	27.5	6.5	97	4,890	210	3,920	80
10月	25.5	6.5	100	6,030	170	4,840	80
11月	23.4	6.5	100	6,450	160	5,160	80
12月	20.4	6.4	100	6,420	160	5,240	82
1月	18.5	6.5	100	7,280	140	5,960	82
2月	17.6	6.3	100	8,290	120	6,880	83
3月	18.1	6.4	100	9,080	110	7,540	83
最高	29.2	6.6	100	9,760	250	8,130	83
最低	16.9	6.2	94	3,770	100	3,040	77
平均	22.9	6.5	100	6,790	150	5,490	81
測定回数	51	51	51	51	51	51	51

備考

1. 数値は各月の平均値である。
2. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
3. 「平均」は月平均値の平均値である。

工 脱水汚泥試験

(7)含有量試験

項目 月	全窒素	全りん	含水率	強熱減量	発熱量
単位	mg/kg-乾	mg/kg-乾	%	%	J/g
5月	52	16	72.7	88.2	—
8月	55	17	74.0	87.4	—
11月	55	19	73.9	87.5	—
2月	51	17	74.0	89.0	18800
最 高	55	19	74.0	89.0	18800
最 低	51	16	72.7	87.4	18800
平 均	53	17	73.7	88.0	18800
測定回数	4	4	4	4	1

## (イ)溶出試験

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
8月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
11月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
2月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 高	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 低	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
平 均	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ*
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
8月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
11月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
2月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 高	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 低	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
平 均	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

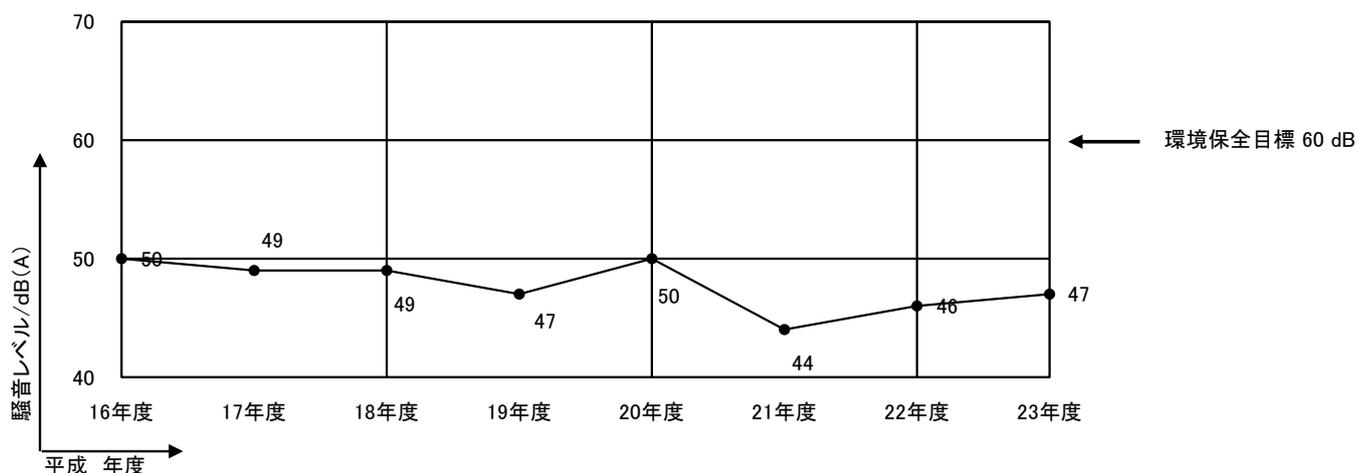
項目 月	ベンゼン	セレン
単位	mg/l	mg/l
5月	<0.01	<0.01
8月	<0.01	<0.01
11月	<0.01	<0.01
2月	<0.01	<0.01
最 高	<0.01	<0.01
最 低	<0.01	<0.01
平 均	<0.01	<0.01
測定回数	4	4

備考

1. &lt;0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

## (12) 周辺環境調査

### ア 騒音調査（夜間）



備考

1. 最高地点、最高値を表示(2地点×2回×4回/年)
2. 環境影響評価を基に夜間の環境保全目標を60dBとした。(工業専用地域のため規制値はない。)

### イ 悪臭調査

#### (ア) 臭覚測定

項目 \ 年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
臭気指数	13	<10	14	<10	14	<10	<10	<10
臭気濃度	21	<10	26	<10	24	<10	<10	<10
臭気強度	2.3	0	1.2	0	1.7	0.2	0	1

備考

1. 最高地点、最高値を表示(5地点×4回/年)

#### (イ) 機器試験

(単位: ppm)

項目 \ 年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
アンモニア	<0.05	<0.05	0.1	<0.05	0.3	<0.05	<0.05	0.18
メチルメルカプタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
硫化水素	<0.001	0.001	0.007	<0.001	0.004	<0.001	<0.001	<0.001
硫化メチル	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.0005	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.0005
二硫化メチル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0009	<0.0009	<0.001	<0.001

備考

1. 最高地点、最高値を表示(5地点×4回/年)
2. 他に放流水の悪臭4物質も試験しているが、すべて報告下限値未満であった。

ウ 水質調査  
生活環境項目

(単位:表示のないものはmg/l)

項目	年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
透明度 (m)		1.4	2.3	1.4	2.0	1.5	2.3	1.8	3.5
pH (-)		7.4~8.6	7.8~8.6	7.4~8.6	7.7~8.6	7.4~8.6	7.8~8.2	7.6~8.1	7.8~8.0
溶存酸素		7.4~10	7.2~9.9	5.4~11	6.1~11	6.2~11	6.8~11	5.6~9.3	5.5~9.3
COD		5.2	5.7	5.5	9.3	5.2	3.9	5.3	3.9
全窒素		3.7	4.5	2.7	3.5	3.5	1.9	2.6	2.0
全りん		0.19	0.17	0.59	0.89	0.11	0.12	0.17	0.18
n-ヘキサン抽出物質		< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
塩化物イオン		18,000	19,000	18,000	19,000	15,000	19,000	19,000	19,000
陰イオン界面活性剤		< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
大腸菌群数(MPN/100ml)		790	130	790	350	490	2,400	4,900	4,900
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		0.07	0.07	0.13	0.08	0.09	0.08	0.15	0.09

備考

- 他に有害項目23項目調査しているが、すべて報告下限値未満であった。
- 放流口最寄地点における最高値(4地点×6回/年、但し透明度は最低値、pH・溶存酸素は範囲を表示)

エ 底質調査  
乾泥あたり含有量

(単位:表示のないものはmg/kg)

項目	年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
C O D (mg/g)		7.0	9	8	13	15	12	17	10
n-ヘキサン抽出物質		450	550	660	1,200	840	850	350	260
カドミウム		<0.1	0.7	<0.1	0.4	<0.1	0.8	0.2	0.2
全シアン		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
鉛		16	26	8	21	11	35	30	13
六価クロム		<1	-	<1	-	<1	-	-	-
砒素		6.0	5.8	3.0	5.3	4.0	4.8	4.1	2.2
総水銀		0.12	0.18	0.05	0.13	<0.05	0.18	0.13	0.07
アルキル水銀		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ポリ塩化ビフェニル		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
全窒素 (mg/g)		1.5	1.0	1.0	1.7	1.1	1.8	1.4	1.1
全りん (mg/g)		0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.7	0.5	0.5
硫化物 (mg/g)		0.09	0.24	0.15	1.1	0.46	1.9	0.53	0.42
含水率 (%)		37	42	42	50	41	48	39	37
強熱減量 (%)		6.1	7.1	3.7	9.2	5.2	7.1	6.1	5.3

備考

- 他に溶出試験として7項目試験しているが、平成19年度に1地点で鉛が0.01mg/l 検出されたほかは、すべて報告下限値未満であった。
- 最高地点、最高値を表示(4地点×1回/年)